

安土山から

松下 幹生

近江の地 夜空を焦がす 篝火に
浮かび上がるは 安土城
金に輝く 天守を望み
天下を治む 風格を
都に続く 街道に
睨みを効かし 堂々と
信長の夢 日本国中 知らしめる

天守から 琵琶湖を望む 眺望と
遙かに霞む 比叡山
僧兵たちの 横暴に
寺も 山さえ 焼き払い
仏恐れぬ 行いも
すべて世の為 人の為
信長の名を 日本国中 知らしめた

安土山 歴史の流れ 見つめ来た
頂きまでの 石段を
一段ごとに 踏みしめる
家臣の家跡 点在し
石の仏を 拝みつつ
本丸跡を 登り詰め
信長の夢 偉人の栄華 思い知る